



婚儀略禮。產儀畧禮。
全

口 9
3317



9
3317
卷

礼記卷之九



婚禮略禮



去五味均平蔵

之要也。不可輒之。禮綱經。嫁娶篇云。男女為婚。是五倫之源。人道

嫁ハ。家ナリ。婦人外ニ成。出テ人ニ適ヲ次
家トス。娶ハ。取ナリ。婦ヲ娶ナリ。男女トス
男ハ仕ナリ。功業ニ仕ルナリ。女ハ如ナリ。
從コト人ノ如シ。家ニ在トス。ハ父母ニ從
既ニ嫁スルトキハ夫ニ從。夫没スルトキ
ハ。子ニ從フ。コレヲ婦人ニ從ノ義ト云フ。
婚ハ。嫁娶ノ禮ヲ云フ。各時ニ禮ヲ行フ



字。禮ニ婦ヲ娶ニ昏時ヲ以テス。陽往陰
 來ノ義ニ取。後人女ヲ娶ニ作ノミト
 云リ。白虎通ニ。昏時ニ禮ヲ行フ所以ハ。何
 ゝ陽陰ニ下ヲ示スリ。婦モ亦陰陽交時
 ナリト云リ。五倫トハ。君臣。父子。夫婦。兄弟。
 明友ナリ。婚儀有テ。而後ニ夫婦アリ。夫婦
 アツテ。而後ニ父子。君臣。兄弟。明友アリ。是
 故ニ男女婚ヲナスハ。コレ五倫ノ源ニシ
 テ。人倫ノ要ナリト云。要トハ。肝要ノ義也。

輒ハ。忽然ナリ。タヤスクト割ズ。忽ニスル
 ナリ。不可輒之トハ。コレヲ忽ニスベカラ
 サルナリ。

娶姉妹從弟。則為犯禮罪人。娶姆姪。嬪姑。為人
 中之禽獸。

聖皇曰。神代ハ。兄妹相婚。レ神代ハ。天ニ
 近クシテ。陽陰ノ和氣ニ効テ。以テ人ニ倫
 寡ニ依テナリ。皇代ニ効テ。此方且。兄
 弟相婚。然リトイヘドモ。先皇人倫ノ禽獸
 理ヲ察シ。初テ禮ヲ立玉ヒテ。同

母ハ姉妹ヲ娶ラズ。寡人如令。分明ニコレ
 ヲ察スルニ。神明母ト子ト母ト。婚コ
 トヲ禁テ。地ツ罪トス。佛陀母。女姉妹ト。婚
 ヲ禁テ。波羅夷罪トス。先皇禮ヲ立。同母ノ
 婚ヲ制。異王禮ヲ立テ。同姓ノ婚ヲ誡。コレ
 親内ノ姪交ヲ惡ムヘニナリ。然バ即何カ
 異母ヲ許ンヤ。今ヨリ以後。娶姉妹。從弟。則
 爲犯禮罪人。娶姪。媿姑。爲人中之禽獸ト。
 其禮ヲ立玉ヘリ。女子ノ先ニ生ラ姉トス。
 女子後ニ生ラ妹トス。父方ノイトコヲ從

父兄弟ト云フ。母方ノイトコヲ從母兄弟
 ト云フ。父方。母方。相通ジテ。イトコヲ從兄
 弟ト云フ。兄ノ字ヲ略スト。トヘトモ。從弟
 モ。イトコナリ。姪ハ。海韻ニ。女師。今ノ乳母
 ナリ。姪ハ。メヒナリ。兄弟ノ女ヲ姪ト云フ。
 媿ハ。婦ナリ。婦ハヨメト。割バ。和名。歛ニ。子
 ノ妻ヲ婦トス。和名。姑ハ。ヨバナリ。父ノ姉
 妹ヲ姑ト云フ。母ノ姉妹ヲ。又ヲバト云フ。
 母ノ姉妹ト云フ。外。姪ト云フ。是。故。通。ニ。字。ハ。父
 人倫ノ禽獸ニ異ナル。所以ハ。禮ナリ。若シ

聖禮ヲ犯ハ人中人禽獸ナルコト知ベシ。
 嫁娶之儀父撰氏姓而憑媒而定之無父則母
 代於父矣母不私問由於祖伯無母則祖伯為
 之無祖伯兄長為之無兄長則主師為之終不
 為私為矣。
 父撰氏姓トハ氏ハ猶家別ニシテコレヲ
 稱スルヲ氏ト云フ合テコレヲ言ハ族ト
 云フ。姓ハ生ナリ百世ヲ統繫シテ相別サ
 ヲシムル所以ナリ。往昔鄉假宮天皇允恭
 諸家ノ先祖ヲ規テ四姓ヲ定メ玉フ所謂

四姓トハ是君姓ト天姓ト地姓ト異姓ト。
 十リ其君姓トハ代代天皇ノ其皇子ノ裔
 十リ是最尊其天姓トハ天ヨリ降臨マス。
 諸神ノ胤十リト部志部等ノ類十リ。是レ
 次テ尊シ其地姓トハ開闢ヨリ來地ニ生
 在。衆祇ノ嗣十リ。諸早姓ナリ。其異姓トハ
 異國ヨリ來シ諸人ノ孫十リ。為最モ早ト
 スル十リ。是レ姓ノ高レテ定玉フ其法ノ
 元十リ。異典ニ曰。謹テ子ノ夕メニ嫁娶ス
 ルハ。必ズ世仁義アルモノヲ擇五ノ娶ザ

ルユトアリ。乱家ノ子ト。逆家ノ子ト。世刑
人アルト。惡疾アルト。喪婦ノ長子トハ。娶
ラズト云リ。憑媒而定之トハ。媒ノ言タレ。
謀ナリ。二姓ヲ謀合スルナリ。曲禮ニ。男女
ハ行媒アルニ非バ。名ヲ相知ウズト云リ。
夫人ハ。天地ニ兼テ。陰陽ヲ施ス。故ニ嫁娶
ノ禮ヲ設ル者ハ。人倫ヲ重ビ。繼嗣ヲ廣ル
ナリ。陽氣ハ餘多。陰血ハ闕少ナリ。是レ天
命自然ノ成降ナリ。神聖觀察シテ。コレヲ
畜養ス。男子ハ陰歳二八ニシテ精成。ハハ

ニシテ精絶。是レ陽中ノ陰ナレハナリ。其
遲コト是ノ如シ。女子ハ陽歳二七ニシテ
經成。七七ニシテ經絶。是陰中ノ陰ナレハ
ナリ。其速コト是ノ如シ。維ハコレ。天命ノ
成降ナリ。男子ハ重陰ノ下。陰歳二六ヲ越
テ娶リ。重陰トハ。十六ナリ。陰歳二六ハ。十
ニテ娶リ。是レ陽中ノ陰。其少ニ約シテ。是ノ
如シ。女子ハ重陽ノ下。陽歳二三ヲ越テ嫁
重陽トハ。二七ナリ。陽歳二三ハ。六ヲ合
是レ陰中ノ陰。緩オト。其多ク。是ノ如シ。維

バエレ。神聖畜養ノミ。何ンゾ天命ノ成降
タルコト。然ルヤ。是レ陰陽男女ノ自然ノ
ミ。天何ンゾ私ニセシ。何ンゾ神聖ニタ
畜養ヲナスヤ。五罪ニ依テコレヲ教人ハ
生形ノ中ニ於テ最モ靈タルモノナリ。養
ベクシテ又得ベキナリ。然ルニ其養フベ
キヲヤシナハズ。得ベキヲ得ズシテ。天命
ノ平ナルヲ病。天命ノ壽ヲ失ス。是レ一ノ
罪ナリ。病トキハ其孝ヲ盡サズ。夫トキハ
甚タ其ノ孝ヲ失フ。君臣兄弟夫婦朋友ノ

其典モコレヲ缺コト復命。是レ二ノ罪ナ
リ。其學イマダ遂ズ。其道イマダ行ハズ。其
徳イマダ得ズ。其功イマダ成ズ。人タルヲ
以テ禽獸ノ如クス。是レ三ノ罪ナリ。父母
コレニ氣血ヲ給フ。コレヲ安ンゼズシテ。
還テコレヲ苦ム。父母コレニ家孫ヲ給フ。
コレヲ持ズシテ。還テコレヲ失フ。是レ四
ノ罪ナリ。心ヲ逸ニシ。オラ縦ニシテ。天命
ヲ顧ミズ。神教ヲ恐レズ。父母ヲ思ハズ。性
道ヲ持タズ。コレ五ノ罪ナリ。是レ此五罪。

ヲレヲ避タメノエニ。神聖コレニ畜養
 儀ニ止テ別ニ時ヲ守テ交リ。日ヲ慎テ會
 セシム。是人ヲシテ。人々ラシムル所以
 ナリ。男女ノ嫁娶ハ。嗣胤ノ爲ニシテ。妣邪
 ノ爲ニ非。禮十ク節ヲ失フトキハ。病ヲ十
 シ。生ヲ亡スナリ。禮ニ男ハ娶リ。女ハ嫁ハ
 何ゾ。陰ハ早シテ。自專ニスル。一ヲ得ズ。
 陽ニ就テコレ。ヲ成故ニ傳ニ曰。陽倡陰和。
 男行女隨。男自專ニ娶ラズ。女自專ニ嫁

ズ。必ズ父母ニヨリ。媒妁ヲ須ハ何ゾ。恥ヲ
 遠ク。淫佚ヲ防テナリ。詩ニ曰。妻ヲ娶ルコ
 ト如之何。必ズ父母ニ苦。又曰。妻ヲ娶ルコ
 ト如之何。媒ニ匪バ得ズ。男ハ三十ニシテ
 娶女ハ二十ニシテ嫁ナリ。陽ノ數ハ奇。陰
 ノ數ハ偶ナリ。男ハ長シ。女ハ幼シ。者ハ
 陽ハ舒。陰ハ促バナリ。男ハ三十ニシテ。節
 骨堅強ナリ。人ノ父。夕ニ任タリ。女ハ二
 十ニシテ。肌膚克盛ナリ。人ノ母。夕ニ任
 タリ。合テ五十二ニシテ。大行ノ數ニ應ジテ。

百物ヲ生ズルナリ。故ニ禮ノ内則ニ曰。男
ハ三十壯ニシテ室アリ。女ハ二十壯ニシ
テ嫁ト云フ。七八歳ノ陽ハ八歳ノ陰。七ト
八ト十五ニシテ。陰陽ノ數備テ相偶スル
ノ志アリ。故ニ禮記ニ曰。女子ハ十五ニシ
テ嫁ヲ許シ。笄ニテ字ス。コレヲ禮スルニ
字ヲ稱ス。陰ハ陽ニ繫ハ。專一ノ節ナルユ
ヘシナリ。陽ハ尊ニテ。繫ル所ナシ。二十五
ニシテ繫ハ。陰ノ節ニ就ナリ。陽ハ節テ。陰
ハ促ル。三十八數三終ル。奇ハ陽ノ節ナリ。

二十ハ數再ニ終ル。偶ハ陰ノ節ナリ。陽ハ
小キ陰ニ成テ。大ニ陽ニ成。故ニ二十ニシ
テ冠シ。三十ニシテ娶ル。陰ハ小キ陽ニ成
テ。大ニ陰ニ成。故ニ十五ニシテ笄シ。二十
ニシテ嫁ナリ。一説ニ。春秋穀梁傳ニ曰。男
ハ二十五ニシテ繫。女ハ十五ニシテ嫁ヲ
許ハ。陰陽ヲ感ジテナリ。陽ノ數ハ七。陰ノ
數ハ八ナリ。男ハ八歳ニシテ毀齒シ。女ハ
七歳ニシテ毀齒ス。陽ノ數ハ奇。三ニシテ。
三八二十四ニ。五トシテ。心ニ繫。

陰ノ數ハ偶再ニシテ十四ト成四一ヲ
加テ五トス。故ニ十五ニシテ嫁ヲ許ス十
リ。各一ヲ加ルハ專一ニ心ヲ繫ルコトヲ明ス
心ヲ繫ル所以ハ何ンゾ。其淫佚ヲ防テ十
リト云リ。是故ニ媒妁ニ憑トイヘドモ。而
モ自ラ專ニセズ。父コレヲ定ム。父ナキト
キハ則母父ニ代テ定ム。母モ又私ニセズ。
由ラ祖父伯父等ニ問ナリ。母ナキトキハ
祖父伯父コレヲナス。祖父伯父ナケレバ
兄長コレヲナス。兄長ナケレバ則チ師範

タル者コレヲ爲終ニ私爲ニセザルナリ。
禮ニ曰。女ヲ嫁ノ家ハ。火ヲ絶ガルコト三
日。離コトヲ相思テナリ。婦ヲ娶家ニハ三
日。樂ヲ舉ズ。親ニ嗣コトヲ思テナリ。親ノ
年衰老シテ代至コトヲ感ジテナリ。禮ニ
曰。婚禮ハ賀セズ。人ノ席ナリ。嫁娶ハ必ズ
春ヲ以テスルハ。春ハ天地交通シ。万物始
テ生ジ。陰陽交接スル。時ナリ。詩ニ云ク。
士如ニ妻ヲ歸バ。冰未ダ判ガルニ迨ベ。用
宜ニ曰。仲春ノ月。男女ヲ合會ス。男ハ三十

ニシテ娶リ。女ハ二十ニシテ嫁セシム。夏
小正ニ曰。二月ハ子ニ冠シ。婦ヲ娶ノ時十
リト云リ。禮網變事ニ云ク。三月ハ陽大過
ヲ十ニ陰不及ニ止ル。故ニ入房嫁娶ヲ爲
ズ。七月ハ陽上リ。陰下リ。陰陽和セズ。故ニ
嫁娶婚姻ヲ爲ズト云リ。
告嫁之儀。遺裝束與小袖之衣裳。皆白衣。陰金
摺也。以色繡摺小袖。爲敷衣。添清濁之麩。肉菜
之者。著艷書於金鳥之花上。件五臺也。
告嫁之儀トハ。結婚ノ禮ナリ。裝束ハ。表衣

ナリ。小袖トハ。內衣ナリ。衣ハ。隱ナリ。裳ハ
鄣ナリ。形ヲ隱テ。自ラ鄣閉スル所以ナリ。
上ヲ衣トシ。下ヲ裳トス。又上下通テ。衣ト
云フ。衣服ノ制ハ。徳ヲ表シ。善ヲ勸メ。尊卑
ヲ別ガ故ニ。人ニ依テ違アルナリ。皆白衣
陰金摺也トハ。白衣ハ。人倫未開ヲ表スル
ナリ。陰金ハ。白銀ナリ。銀ノ摺紋ヲナスナ
リ。以色繡摺小袖。爲敷衣トハ。繡ハ。和名。沼
無毛乃ト。割シテ。五色ノ絲ヲ以テ。万物ノ
形狀ヲ刺ナリ。色繡摺ノ小袖ハ。色々ノ縫

モヤウノ小袖コソデハコレヲ以テ敷衣トス
ルナリ。添ソヘ清濁之セイダク。醢ハキ肉菜之ニクサイ者トハ。清濁之
醢ハキハ。清酒ト。濁酒ト。酒醢サカサメナリ。肉菜之ニクサイ者トハ。野菜
トハ。肉ハ。鯛魚タイヒ。鰯イサ。鱈タラ。鱈ノ類タラヒナリ。菜ハ。野菜
海菜等カイサイトウ。或ハ昆布ノ類タケヒナリ。肴トハ。穀ニア
ラズシテ食クハフ。肴ト云フ。和名サカナ。又フ
著ツケ艷書エンショ於金鳥之花トハ。聳ムコノ方ヨリ。當日
初ハジメテ消息セウソクアリ。ソノ消息セウソクヲ金鳥ノ花ニツ
ケテ。ツカハス。ヲ云フ。上件五臺也トハ。衣
裳一臺。清酒一臺。濁酒一臺。肉有一臺。菜者

一臺。合テ五臺ナリ。結婚ケツコン已ニ定サダメルトキハ。
結納ノ禮レイヲナス。是レ告嫁ノ儀ギナリ。
迎衣之儀ゲイイ。其日遣裝束ツクス與小袖之衣裳ソデノイ。並白衣
陰金キン。措スリ清濁之醢ハキ。肉菜之肴サカナ。上件三臺也。
迎衣之儀ゲイイトハ。入輿ノ日ノ迎儀ゲイギナリ。裝束
トハ。小袖ト。衣裳清濁ノ酒。肉菜ノ肴サカナ。告嫁
ノ儀ギニ同ナシ。衣裳一臺。酒一臺。肴一臺。合テ
三臺ナリ。
入輿之儀ゲイイ。人倫未開之白輿也。云是御臺未分
御前是依ミマエ。大己貴オホニギハヤヒ。神令海童ミコトノミナトコ。女入宮時メノミヤトキ。爲除

障鬼用未分方禮也。

入輿トハ。婦娘ノ輿。夫君ノ家ニ入ノ儀也。
人倫未開之白輿也トハ。人倫未開ハ。混沌
未分ヲ云フ。白ハ素ナリ。可色ノ素ハ。白ナ
リ。故ニ白輿ヲ以テ。歸入ノ輿トスルナリ。
輿ハ載ナリ。乘輿ヲ云フ。此白輿ノ儀式ヲ。
御臺未分御前ト云フナリ。大已貴大神。大
海命ノ女。春幸姬命ヲ娶リ。此姬神。大威神
等ヲ生ジ玉フ。其兒ノ大神等。カヲ合テ。邪
神ヲ擊。天下ヲ平玉フ。故ニ此時ノ禮ヲ用

エルナリ。

土産。裝束與小袖之衣裳。金造之太刀。白木之
真弓。清丹之酒。羽鱗菜之者也。

土産トハ。ミヤゲト訓ズ。婦娘ヨリ。夫君ノ
方エ。持參モノナリ。裝束ト。小袖トノ衣裳
ハ。夫君相應ノ衣裳ナリ。金造ノ太刀モ。品
位相應ナルベシ。白木ノ真弓ハ。袋ニ入酒
ハ。耳美ノ清酒ナリ。羽ハ。鴈ナリ。鱗ハ。鱒
魚等。菜ハ。昆布ノ類ナリ。上件ノ品々。入輿
ノ時土産ナリ。

待饗之座。莊之以。矢備教鳥之臺。安之於
壇。座待女。迎室姬。而令位。乳母持弓。而授待女。
待女取弓。而立。矢右。已而待女引夫。君而令對。
尋取弓。脫袋。副於矢。立之。已而修宴。行相合之。
睽和。已而為饗。

待饗之座。トハ。饗應ノ座。席ナリ。其莊法ハ。
白羽ノ矢ヲ。教鳥ノ臺ニソナヘテ。壇牀ノ
座ニ安ナリ。教鳥トハ。鶴鴿ナリ。イシタ、
ト云フナリ。是レ陰陽ニ神ノ故事ニ依テ
ナリ。臺ニ岩ノ形ヲ安ソノ上ニ鶴鴿ヲ安

ヲ。教鳥ノ臺ト云フ。待女迎室姬。而令位ト
ハ。待女ハ。待上。臈ナリ。室姬ハ。婦姫ナリ。待
女立テ。室姫ヲ迎テ。座ヲ示令テ。コレヲ居
シムルナリ。乳母待弓。而授待女トハ。乳母
ハ。婦姫ノ姆女ナリ。土產ノ白木ノ真弓ヲ
持テ。待女ニ授ナリ。待女取弓。而立。矢右ト
ハ。弓ヲ取リ。教鳥臺ニ莊ル所ノ白羽ノ矢
ノ右ニ立安ナリ。已而待女引夫。君而令對。
尋取弓。脫袋。副於矢。立之トハ。待女起テ。夫
君ヲ迎引テ。室姫ニ對セシメ。尋テ弓ヲ取

袋ヲ脱^{ヌキ}白羽ノ^{シテ}知^ル副^ハ元^ノコレヲ立^テ置^クナリ。
己^ニ而^{シテ}修^ム宴^ヲ行^ハ相^シ合^ス之^ヲ。臙^ハ和^ストハ。次^ニ宴^ヲ酒^ヲノ
禮^{ナリ}。臙^ハ肉^ヲ羹^{ナリ}ナリ。羹^ハ菜^ヲ以^テ主^ト
シ。臙^ハ肉^ヲ以^テ主^トスルナリ。臙^ハ肉^ヲ
ノ吸^ク物^{ナリ}ナリ。正^ク結^ス婚^ス夫^婦人^ノ禮^ヲ修^ム陰^ノ
陽^相合^ノ臙^和ヲ行^ハナリ。己^ニ而^{シテ}爲^ス饗^トハ。臙^ハ
和^ス宴^ヲ禮^ニ己^ニ而^{シテ}饗^ス膳^ノ儀^ヲ設^ク。
二^ニ日^ハ白^ク裝^束三^ニ日^ハ改^メ之^ヲ以^テ漆^ノ紋^ヲ表^ス衣^ノ内^衣之^ノ裝^束
束^シ己^ニ而^{シテ}修^ム宴^ヲ入^ル室^ニ之^ノ羹^{ナリ}枝^ノ榮^{ナリ}之^ノ饗^ス。
二^ニ日^ハ白^ク裝^束トハ。婚^ノ調^テ二^ニ日^ノ間^ハ白^ク裝^束

束^{ナリ}。三^ニ日^ハメ^ニコレヲ改^メテ漆^ノ紋^ヲ表^ス衣^ノ
内^衣ノ裝^束ヲ十^ニスナリ。己^ニ而^{シテ}修^ム宴^ヲ入^ル室^ニ之^ノ
羹^{ナリ}枝^ノ榮^{ナリ}之^ノ饗^スナリトハ。裝^束改^メテ後^ニ行^ハ宴^ノ
禮^ヲ修^ム不^スナリ。入^ル室^ニ之^ノ羹^{ナリ}ハ。雜^{ナリ}煮^{ナリ}ナリ。枝^ノ榮^{ナリ}
之^ノ饗^スハ。松^竹梅^花桃^等ノ春^臺盃^臺ヲ莊^ノ
饗^膳ナリ。
是^レヨリ先^ニ待^テ饗^ノ座^ニ於^テ。餅^ト酒^トヲ備^フ。
陰^陽宮^ニ鎮^シ坐^シ玉^ヲ竹^ノ人^ノ二^柱ノ大^神ヲ
祭^ル。二^柱ノ神^トハ。炎^天孫^大神^ト。豐^玉姫^ノ
大神^{ナリ}。豐^玉姫^ノ大神^ト。海^宮水^陰ノ極^ヨ

リ出。女ノ男ニ歸キ。兒ヲ生ノ道ヲ護。炎天
孫大神ハ。陸宮火陽ノ極ヨリ出。男ノ女ヲ
娶リ。嗣ヲ生ノ道ヲ守リ玉フナリ。此二神
ノ守護ニアラサレバ。男女道ヲ成セズ。何
以テ然ルトナレバ。是レ男女ノ道ヲ主リ
玉フエヘナリ。此二神ニヨラズシテ。夫婦
ノ事ナレハ。譬王命ニ依ズシテ。私ニ新圃
ヲ開テ。田ヲ盜カ如シ。若此二神ヲ祠ラサ
レバ。離別大ノ憂アリ。神代ヨリ已來。歸取
時ニ於テ。其餅酒ヲ祭ル。是二柱ノ神ヲ祠

ナリ。此二神ハ。志摩國南ノ濱。出津ノ御崎
ノ陰陽宮ニ鎮坐シ玉フナリ。天牽牛織女
ハ。天ノ心ヲ湍河ヲ隔テ。宗源ノ陰陽ヲ守リ。
豊神。炎神ハ。地ノ心ヲ龍海ヲ隔テ。齊元ノ陰
陽ヲ守リ玉フナリ。
禮ニ云ク。媼交ハ。是レ陰事ナリ。禽獸ハ人
前ニナス。見處ニナスハ。人倫ノ業ニ非ズ。
知テ。人倫ノ心ニ非ズ。復
亦説謂ハ。人倫ノ言ニ非ズ。
禮ニ云ク。父母ノ儀。兄弟ノ儕ハ。コレヲ親

倫ト名ク異姓ノ輩異氣ノ輩ハ是ヲ他倫
ト名ク陰事ハ其辱ヲ他倫ニ犯サズ况ヤ
親倫ニ於テヤ陰事ヲ取スンバ其何事
ヲカ取シ人トシテ其辱ヲ知ラザルハ是
即チ人中ノ禽獸也
禮ニ云ク君子變ニ依テ禮ヲ離テ行ト坐
言ト食トヲ以テスル寸ハ人コレヲ見テ
乃チ小人ナリト云フ小人訓ニ依テ禮ニ
合シテ行ト坐ト言ト食トヲ以テスルト
キハ人コレヲ見テ乃チ君子ト言當ニ知ル

ベシ君子ト小人ト自體ナシ其體ヲ成ス
モノハ唯コレ禮爲而已

婚儀略禮終

產儀略禮

禮網經產誕篇云。生產禮止經之月。是空月。以序月為初月。身女以空月晦日。沐於香湯。而以子更速起。靜身。靜意。靜氣。靜業。靜言。而待五更。早且浴於香湯。避凶惡。向吉善。而隔簾幔。向朝日。雖不拜。心敬以盡之。三日。向夕陽。而隔簾對於月。敬以如日。終月止於仁。託於禮。無怒恨。無貪欲。無媼亂。無為罪。靜靜然。清清如。胎中如是。而遂產。

生產トハ兒ヲ誕ナリ。其兒生ヲ得ルノ始。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 禮, 經, 產, 誕, 篇, 云, 生, 產, 禮, 止, 經, 之, 月, 是, 空, 月, 以, 序, 月, 為, 初, 月, 身, 女, 以, 空, 月, 晦, 日, 沐, 於, 香, 湯, 而, 以, 子, 更, 速, 起, 靜, 身, 靜, 意, 靜, 氣, 靜, 業, 靜, 言, 而, 待, 五, 更, 早, 且, 浴, 於, 香, 湯, 避, 凶, 惡, 向, 吉, 善, 而, 隔, 簾, 幔, 向, 朝, 日, 雖, 不, 拜, 心, 敬, 以, 盡, 之, 三, 日, 向, 夕, 陽, 而, 隔, 簾, 對, 於, 月, 敬, 以, 如, 日, 終, 月, 止, 於, 仁, 託, 於, 禮, 無, 怒, 恨, 無, 貪, 欲, 無, 媼, 亂, 無, 為, 罪, 靜, 靜, 然, 清, 清, 如, 胎, 中, 如, 是, 而, 遂, 產.]

最モ慎ズンバアルベカラズ。生産ノ禮ハ
止經之月。是空月。以序月爲初月トハ。經水
止ル月ヲバ。空月ト云フハ。其姓ヤ否ヤ未
ダ知レザルユヘニ。姓胎ノ慎ヲサズ。是
故ニ。空月ト云フ。以序月爲初月ハ。序ハ次
序ノ義ニシテ。次ノ月ヲ云フ。經水已ニ止
リ。姓孕ヲ知ルガユヘニ。序月ヨリ慎ヲ初
ムルナリ。慎ノ初月ナルガ故ニ。序月ヲ以
テ。初月ト爲ト云フ。正シク臨産ノ數ハ。空
月ノ初月ト云フ。慎ハ。空月ト云フナリ。故ニ。身女。以

空月晦日。沐於香湯トハ。身女ハ懷胎スル
如ナリ。經水止ル月ノ晦日ニ。小ノ月ナレ
香湯ヲ以テ沐シテ。其身ヲ清ムルナリ。而
以子更速起。靜身。靜意。靜氣。靜業。靜言。而待
五更トハ。子更ハ。三更ナリ。夜半子ノ刻ヲ
云フ。此夜ハ。夜半子ノ刻ニ。速ニ起テ。身ヲ
靜ニシテ。身ヲ欽意ヲ靜ニシテ。意ヲ慎氣
ヲ靜ニシテ。氣ヲ敬業ヲ靜ニシテ。業ヲ肅
言ヲ靜ニシテ。言ヲ謹。皆謹敬テ。以テ五更
ヲ待ナリ。五更ハ。寅ノ刻ナリ。早旦。浴於香

湯避山惡向吉善トハ早且ハ朝未明ナリ
此特又番湯ヲ以テ浴シ倍身ヲ清メ凶事
惡事ヲ避除キ吉事善事ニ向作ナリ而隔
簾幔向朝日雖不拜心敬以盡之トハ身ヲ
清トイヘドモ己ニ懐胎ナルガエヘニ忌
憚ル所アリ是故ニ直ニ日輪ニ向ハズ簾
幔ヲ隔テ朝日ニ向フナリ簾ハミスト割
ズ竹ヲ縮ノ帳ナリ幔ハ帷幔ナリニダ
クト割ズ凡帳或ハウチニク等ナリ日
ヲ拜セズトイヘドモ心ニ敬慎テ以テ盡

之ナリ盡之トハ朔日ハ心ニ敬ヲナシ終
日エレテ慎盡スナリ三日向夕陽而隔簾
對於月敬以如日終月トハ三日ニ壯ヲ拜
スルナリ三日亦香湯ヲ以テ浴シ身ヲ清
メ意ト氣ト業ト言トテ静ニシテ夕陽ニ
向ヒ簾ヲ隔テ月ニ對シ是レ亦胎忌ヲ憚
ガエヘニ直ニ月ヲ拜セズトイヘドモ心
ニ敬ヒテ朔日ノ朝日ノ如クエレテ慎ニ
月ノ入汝マスノウチエレテ敬飲ナリ止
於仁ト云ゴリ以下ハ懐胎十月ノ中ノ慎

十リ此^{ジヨケツ}序月ヨリ後凡^{ジベフナラウバ}ソ兒情尚乳母ニ類^{ルイ}
スル子ヘニ乳母ヲ撰^{エテ}ブ焉^{イックン}ゾ胎母ニ類セ
ガウ^{ウレフニカクヒヤカナル}ンヤ胎母^{カラレ}辛熱ヲ食スレバ生兒每^{ツネニ}ニ痢ヲ憂フ
ヲ憂^{ウレフニカクヒヤカナル}苦寒ヲ食スレバ生兒每^{ツネニ}ニ痢ヲ憂フ
鬼ヲ食ハ堅^{タテシテ}口ヲ生^{俗ニニツツ}猪ヲ食ハ尖^{クチナ}
唇ヲ生其相似^{アヘニタレ}コト是^{カク}ノ如^{ゴト}ニ何^{ナニ}ゾ欽^シザラ
シヤ是^{コノユエ}故^イニ意^イ情^イ仁^イ息^イニ止^トリ勤^イ静^イ禮^イ儀^イ
託^{タクシイカ}怒^{ウラム}リ恨^{ムコボ}ノ心^{ホレイ}十^コク貪^コリ欲^{ホレイ}ノ意^コ十^コク媮^{イニラ}乱^{イニラ}
十^ツク罪^{ツミトガ}咎^{ツミトガ}十^ツク静^{セキ}然^{セン}トシツカニ清^{セイ}淨^{ジツ}如^{ジツ}
トキヨラカニシテ懷^{カクシイ}胎^イノ中^{ウチ}臨^{リン}産^{サン}ノ時^{トキ}ニ

至^チルニテ怠^{チヌ}ルコト十^ツク欽^シ慎^シテ産^ウヲ遂^トグ
十^ツリ其^{ソノ}胎^イ在^アヲ論^ロゼバ胎^イ袋^{フクロ}ハ胞^{ハツ}座^ザ十^ツリ胞^{ハツ}
ハ水^{ミヅ}ヲ包^ツテ中^{ウチ}ニ滿^{ミツ}胎^イ子^コ水^{ミヅ}中^{ウチ}ニ在^アテ浸^{ヒタ}
レズ兩^{リヨフヒ}膝^{ヒザ}ヲ立^ツテ踞^{クマ}リ膝^{ヒザ}ノ頭^{カビ}ハ兩^{リヨフヒ}臂^{ヒデ}ヲ受^{ウケ}
兩^テ掌^テハ頰^{ヲカキ}ノ頭^{ヲカキ}ヲ受^{ウケ}臍^{ヘビ}ノ緒^{ヲカキ}ハ胞^{ハツ}ニ從^シテ臍^{ヘビ}
ヨリ出^デ入^リテ兩^{リヨフヒ}膝^{ヒザ}ヲ纏^{マツ}テ腰^{ウシ}ヲト兩^{リヨフヒ}ノヒギ
ヲ纏^{マツ}テ肩^{カタ}ヲト皆^{ナニ}繚^ミテ身^ミ體^{タイ}ヲシテ動^{ユク}キ擦^{ハタ}
レザラシム此^{ココ}時^{トキ}口^{クチ}未^ヤダヒラカズ舌^{ゼツ}イニ
ク揺^{ユカ}カ水^{スイ}軀^ク外^{ガイ}ニ充^シテ鼻^{ハナ}ノ息^{イキ}ヲシテ呼^{コキ}吸^ブ
ノ氣^キヲ通^ツセザラシムコレニ依^ヨテ飲^{イン}食^シス

擦^{ハタ}恐^{コソ}者^{モノ}
衛^ヱ也^{ナリ}

水穀融氣
母ノ食スルモノ
ジユカンスルキナリ

ルユトギナリ其食ハ乳汁ニハアラス唯
胎母水穀ノ融氣ニアリ其氣タルハコレ
直食ニ非ズ唯コレ神食ニシテ養生ニ成テ
リ神食ハ微妙ナリ微妙ニ精ヲ受テ位ス
胎母飲食ヲ飲ズンバアルベカラズ飲サ
ルトキハ生兒種人胎毒ヲ憂フナリ當ニ
知ヘシ人モ吾モ元神位ナリ神位ハ上位
ナリ還コレ人モ吾モ上位ヨリ出何ソ日
時ノ人位ヲ飲サラシヤト云リ古典ニ云
ク婦人子ヲ妊テハ寢ニ側カ坐ニ邊ズ立

教目ハマ子ヲスル也

ニ躡セズ邪味ヲ食ズ割タバシカラザレ
ハ食ハズ席正シカラザレハ坐セズ目ニ
邪色ヲ視ス耳ニ淫聲ヲ聽ス夜ハ則瞽ヲ
シテ詩ヲ誦シ正事ヲ道シム此ノ如クス
レバ則チ生子形容端正ニシテ才人ニ過
ルト云リコレ正ニ感ズルトキハ則チ善
邪ニ感ズルトキハ則チ惡自然ノ理ナリ
若胎教鹿ナレバ子ヲ愛スルノ本ヲ亂ル
ナリ

臨産之禮先撰吉方而産婦向對矣凶方要年

月而避之吉方要日時向之或產期延去則預
ケツヲ。オク。コラキツハフ。ヨラズ。ジツ。カク。コニ
 知兼方而向之
アヒラカシメ

自下正ク臨産ノ禮ナリ天地相生ノ數ハ
アヒラカシメ
 十ニシテ成ル人ハ天地ノ正ヲ稟故ニ胎在
タケニアル
 十月ニシテ生ル禽獸ノ如キハ天地ノ偏
ヘニ
 氣ニ依テ生ズ故ニ或ハ過或ハ不及ニシ
フキフ
 テ十數ヲ得ズ異典ニ云ク人ハ十月ニシ
レツス
 十數ナリ獸類ノ過不及ハ馬ハ十月ニ
テ
 シテ生レ虎ハ五月ニシテ生レ鹿ハ六月ニ
ニ
 シテ生レ狗ハ三月ニシテ生レ豚ハ四月ニ
ニ
 トイヘリ懷胎十月ニ至ラバ預メ吉方ヲ
ト

撰テ臨産ノ時産婦吉方ニ向ヒ對スベシ
 凶方要年月而避之トハ凶方トハ産婦ノ
 向フヘカヲガル方ナリ年月ニ依テ違テ
 リコレヲ考要テコレ避クヘシコレヲ避
 ガルトキハ凶事アリ是故ニ凶方ト云フ
 其凶方トハ大陰神方方伯神方方障神方
 時塞之方ナリ
 大陰神方
 子年ハ戌ノ方丑ノ年ハ亥ノ方寅ノ年ハ
 子ノ方卯ノ年ハ丑ノ方辰ノ年ハ寅ノ方

己ノ年ハ卯ノ方午ノ年ハ辰ノ方未ノ年
ハ己ノ方申ノ年ハ午ノ方酉ノ年ハ未ノ
方戌ノ年ハ申ノ方亥ノ年ハ酉ノ方十リ
産婦大陰神ノ方ニ向フトキハ凶コノ故
ニコレヲ避ユレニ白ヲヘカウズ

方伯神方

十月ト二月ト六月トハ東塞
七月ト十一月ト三月トハ北塞
四月ト八月ト十二月トハ西塞
正月ト五月ト九月トハ南塞

右方伯神ハ天障魔雄神十リコレヲ九魔
王神ト云テ産婦此方ニ向フトキハ甚凶
十リ月ニ依テコレヲ避ベシ

方障神方

子ノ日辰ノ方丑ノ日酉ノ方寅ノ日亥ノ
方卯ノ日未ノ方辰ノ日申ノ方巳ノ日戌
ノ方午ノ日丑ノ方未ノ日子ノ方申ノ日
卯ノ方酉ノ日午ノ方戌ノ日寅ノ方亥ノ
日巳ノ方十リ

右方障神ハ天障魔女神十リ此方ニ向テ

産ニ臨バ甚父凶ナリ日ニ依テコレヲ避
吉方ニ向フベシ
時塞之方

子ノ刻子ノ方丑ノ刻丑ノ方寅卯ヨリ亥
ノ刻ニ至ルニテ其刻ノ支ニアタル方ヲ
時塞リト云フ時ニコレヲ考テコレヲ避
吉方ニ向フベシ

吉方專日時向之トハ幸事吉産ノ向方ハ
天宮神ノ方ナリ産ノ時コレニ向フ最
上ノ吉方トスルナリ

天宮神方

申子辰歲ハ亥ノ方 亥卯未歲ハ寅ノ方
寅午戌歲ハ巳ノ方 巳酉丑歲ハ申ノ方
右此方ニ向フトキハ則チ幸事吉産ナリ
若シレテ後ニ成トキハ凶事葬斃スコレ
産ノ時第一ノ吉方ナリ若年月日時ニ依
テ凶方ニ障リテバ少ク凶方ヲ除キ隣
位ニ向ヒ必ズコレヲ後ニナスヘカク大
コシ産ノ時至ル慎事ナリ感産期延去則
預知兼方而向之トハ産ニ臨テ其期延去

トモハ則テ兼テ次ノ刻ニ至レバ何レノ
方ハ山何レノ方ヲ吉トスルヲ考テ吉方
ニ向フベシ女師下寧信實ニシテ産婦ヲ
シテ勞スルコト十カテシムベシ

是ヨリ先懷妊ニテ慎ノ初月ヨリ一室ヲ
清淨ニシテ三幣ヲ安置シ炎天孫大神ト
豊玉姬大神ト稻田姬大神ト三神ヲ祭
火ヲ改テ供ヲ備ヘ誠ヲ至テ産誕ノ安狀
祈ルベシ此三神ハ生産誕兒ノ事ヲ宰リ
コレヲ守リ至ヘリ釋典ニ易産生ノ呪アリ又菩薩ノ願カアリ

コトヲ要テ幣前ニ
祈ハ慎ノ至リナリ
凡ソ誕産ヲ論ズレバ産下ニ臨テ胞袋綻
啓テ胞水流出胎中ハ神境ナルガキヘニ
口鼻能閉テ水血ヲ吞コトナシ誕下シテ
人境ニ移ナリ此時胞母誤テ生兒ヲシテ
水血ヲ飲シムルトキハ水血腸胃ニ透還
水ハ驚ヲ成驚風疾ナリ血ハ瘡ヲナス生兒初
沐スルニ濁水ヲ以テ沐湯トナスコト十カ
レ亦身ヲ洗血湯ヲ以テ同ク面顔ヲ洗フ
コト十カシ穢湯目ニ入トキハ目早ク昧

耳ニ入トキハ耳早ク聾鼻ニ入トキハ外
虚ヲ憂ヘ口ニ入トキハ早ク内虚ヲ憂フ
生兒胞中ニ在テハ水穀ノ融氣ヲ神食ス
其氣臟腑ニ回リテ氣濁相涸テ胞糞トシ
乳氣強キトキハ押レテ悉ク下ル其氣
弱トキハ腸ノ際ニ遺テ熱毒ト成黃汁ヲ
蜜ニ和シテ兒ヲシテユレテ飲シムルト
キハ皆下テ胎毒トシ醫書ニ小兒初テ生
トキ先濃セシタ
ル黃連耳草湯急ニ軟
指ヲツ、ミ、藥ヲ蘸
口ノ惡血ヲ搦出シ
モ、シ、或ハ、及、ズ、ン、バ、藥、湯、ヲ、以、テ、ユ、レ、テ、灌
惡沫ヲ吐出スルヲ待テ方ニ乳ヲアタヘ

テ吃スベシ痘ヲイタサシ是レ此産業ハ
ムルコト亦稀トイヘリ是レ此産業ハ
人生ノ本ニシテ生涯ハコレ其標ナリ其
本妄猥ニシテ豈其標安快ナラシヤ慎ズ
ンバアルベカラズト云リ

醫綱經ニ曰孕病ノ證タルヤ氣盛ニ血衰
ニ依是ヲ以テ數證ヲナシテ安カラズ婦
人常ニ男ヲ生コトヲ欲女ヲ生コトヲ嫌
テ慮リ恐テ以テ心ヲ慘身安サラズ偶産
誕ニ致リ女ヲ見ルトキハ則チ驚テ乍ニ
血逆眩絶ス當ニ預コレヲ知ルベシ女子

ノ初生時ニ早ク芽テ男幾頭女幾口幾大
子幾壽子ト云フコトノ胞氣ヲ帶故ニ其
子欲トイヘトモ能ハズ悔トイヘトモ得
ズ此事肇テ我云フ所ナリ異醫ハ未ダ云
カ亦其轉ズルコトユレナキニ非ズ神仙
ノ藥聖僧ノ咒纜ニコレヲ轉スルコト有
然レドモ神仙聖僧亦得ベカラズ故ニコ
レヲ悔ルコトナカレコレヲ欲ナカレ
依テ以テ時ニ先テ求メズ時ニ臨テ驚ズ
是ヲ堅固ニ心ニ悟ルコト心ヲ擊ス血ヲ

減ガル人ナリ其異醫ノ云ガル所以ハ
凡醫ハ知ズ故ニ云ハズ聖醫ハコレヲ默
シテ養方ヲ立ツ今寡人コレヲ云方便ト
イヘトモ虚ヲ云ズ實ニ天ノ定ヲ明シテ
心ト悟テ養生ヲ立ルナリ
産前ノ疾病ハ或ハ強幸ヲ食バ胎熱ヲ生
生冷ヲ食バ胎寒ヲ生或ハ荒卧ニ依バ胎
氣ヲ動シ行倒ニ依バ胎常ヲ損ズ産後ノ
疾病ハ或ハ胃驚テ血道ヲ騷乱ニ或ハ媛
ニ觸テ血道ヲ乱破シ或ハ酒肉臟腑ヲ損

虚之或ハ風邪臑臑ヲ變疾ス故ニ預コレ
ヲ慎養フコト孕婦ノ敬身ナリ

祝射之儀向玉女三引未曾於肩鎬無鐸已而
順轉向鬼門發之鎬入鐸已而順轉向玉女三
引而納之鎬無鍬射士饗宴賜祿

祝射トハ産屋ノ射儀ナリ向玉女三引未
曾於肩鎬無鐸トハ祝射ノ法ナリ玉女ハ
ユレヲ九玉女ト云フ其日ノ支ヨリ九ツ
ムニアタリタル方ヲ玉女ノ方トス
子ノ日ハ申ノ方丑ノ日ハ酉ノ方寅ノ日

ハ戌ノ方卯ノ日ハ亥ノ方辰ノ日ハ子ノ
方巳ノ日ハ丑ノ方午ノ日ハ寅ノ方未ノ
日ハ卯ノ方申ノ日ハ辰ノ方酉ノ日ハ巳
ノ方戌ノ日ハ午ノ方亥ノ日ハ未ノ方十
リ此日ヲノ方ニ向フヲ玉女ニ向フト云
フ三引未曾於肩トハ射士禮ニ依テ弓ヲ
取り矢ヲ番テ鎬ヲ玉女ニ向心ノ前ニテ
ユレヲ引クコト三度ス未曾於肩トハ十
分ニ引サレナリ是故ニ肩ニセズト云フ
鎬無鐸トハ玉女ノ方ニ向テ三度心ニテ

引トキハ鑄ニ鑄ヲ入サレナリ已而順轉
向鬼門發之鑄入鑄トハ玉女ノ方已テ順
ニ轉リ鬼門ノ方ニ向テコレヲ發ナリ順
ニ轉ルトハ東ヨリ南ニメグリ南ヨリ西
西ヨリ北ト轉ルナリ鬼門トハ丑寅ノ方
ナリ是陰鬼難ヲ發ス方ナリガ故ニ鬼門
ト云フ良ノ方ハ社數八ノ數位スハ難
ニ鬼門トシ數ニシテ昂十陰ナリコノハ難
ルナリ是レ難ヲ避ルコトヲ畏懼ス鬼門ニ
向テ矢ヲ發トキハ鑄ニヤシリヲ入テコ
レヲ發ナリ發ガレ前ニ副士鑄ヲ入ベシ

已而順轉向玉女三引而納之鑄無鏃トハ
鬼門ニ矢ヲ發ナリ已テコレヨリ又順ニ轉
ル此時副士鑄ヲ取リ鏃十キノ矢ヲ番玉
順ニ轉テ射士ニ奉鏃
女ノ方ニ向テ三々ビ引コト前ノ如ク心
ニテコレヲ引弓矢ヲ本座ニ納メ退出ス
ルナリ白木ノ弓白羽ノ矢ナリコレ婚儀
ノ夫ホリ而後ニ射士饗饗宴酒賜アリコ
用ルナリ而後ニ射士饗饗宴酒賜アリコ
レヲ祝射ノ儀ト云フ

七日
祝射之儀入産月射士入齋臨類誕行之産後

祝射之儀臨産ノ月ニ入テ射士齋ニ入り
産誕ノ期ナキニ臨テコレヲ行フナリ
頻ハ急ニ覽ナリイトハヤク其期ナカク
シツマール時ナリ産誕ノ後七日ノ間射法
ヲ行フ

之 哺乳之儀母君擇面背吉方而哺乳勿不足離
哺乳之儀トハ哺ハ食ヲ以テコレヲ食シ
ムル也乳ハ母兒ニ飲シムル汁ナリ和名
知ト云フ乳ヲ飲シムルヲ哺乳ト云ナリ

母君ハ産母ナリ面背ノ吉方ヲ擇テ對面
スベシ 母君 天宮 神ノ方ハ前段ニ具ナリ 是ヨ
リ先乳母ヲ撰ブ乳母肉毒ヲ食ハ兒必ス
病ヲ發ス又其清精ヲ食ハ兒又平安ナリ
乳兒ノ病證壯老ヲ追所以ナリ慎ズンハ
アルベカラズ乳ヲ哺スルコト足サレニ
エシテ離コトナカレ 醫書ニ小兒生レテ
四五月ケ月以後方ニ稀ニ
アタヘテ吃セシム六ケ月セシム後方ニ稀ニ
切ヲ暈醒弁ニ生レシノ物ヲ吃スベカラズ
兒ヲ待テ後臍ヲ縮トシムニシムニシムニシム
夕ハ待テ好ウニト云ナリ

年ニハシノ間ハ陰成ノ歳ナリ故ニ酒ヲ断
色ヲ割重肉ヲ断輕肉ヲ撰ニ穀ハ足ヲ以
テシテ甚ダアカズ菓ヲ撰ニ
納胞之儀洗於吉水包於吉衣而撰宿撰日撰時
撰方撰地而納之云是五撰

胞ハ胎衣ナリ胞衣ヲ納ノ儀ハコレヲ輕
シクセズ五撰ヲ以テコレヲ納ルナリ洗
於吉水トハ清淨ナル吉水ニテ洗フナリ
包於吉衣トハ新淨ノ白布ヲ以テコレヲ
包ムナリ包ニテ新淨ノ箱ニ撰宿トハ二
十八宿ニ吉山アリ其吉宿ヲ撰ナリ四七

宿ノ中寅壁事畢張軫房尾箕斗ノ十一
宿ハ皆吉ナリ此宿ニアタル日ヲ最上ト
スルナリ撰日トハ巳ニ吉宿ナリトイ
ハドモ又事ニ障リナキ日ヲ以テ吉トス
撰時トハ日月木ノ當日日月木ニ中ル
時ヲ嘉辰縁會ノ時トス又甲乙ノ日ハ亥
子ノ刻丙丁ノ日ハ寅卯ノ刻戊己ノ日ハ
巳午ノ刻庚辛ノ日ハ丑未辰戌ノ刻壬癸
ノ日ハ申酉ノ刻コレ一切皆吉祥ノ時ナ
リ撰方トハ其年ノ歲德神ノ方ヲ吉方ト

スルナリ撰地トハ事ニ障リナキ清淨
カレ地ヲ撰ナリ皆撰ニ其吉ヲ以コレヲ
納ルナリ是ヲ五撰ト云フナリ

鎮地鎮衣鎮法而納之云是三鎮

鎮ハ安重鎮壓ノ義ナリ宿ト日ト時ト方
トヲ撰テ永然安重ノ地ニ納ムコレヲ鎮
地ト云フ吉衣ヲ以テコレヲ包納テ以テ
勤サズコレヲ鎮衣ト云フ是ヲ納ニ皆以
テ法ニヨルコレヲ鎮法ト云フ此ノ如ク
コレヲ納ム是ヲ三鎮ト云フナリ

納胞之饗宴六日行之

胞衣ヲ納ノ賀饗祝宴ハ其當日コレヲ行
親族集宴ス

詣社之禮忌日已過産祓已修而依吉宿吉日
神巫修兒祓而詣

神社ニ詣ノ禮ハ忌日已ニ過生兒ノ忌ハ
産ハナリコレヲ修シ吉宿吉日ヲ撰テ神巫ヲ
ニテ兒ノ祓ヲ修セシメ或ハ縣社ニモア
レ或ハ國社ニモアレ各其處ノ社ニ詣ル
ナリコレヲ生社宮參ト云フ

初參奉幣

初參ノ奉幣ハ人ニ依テ違アリ天皇ノ皇子太子ノ
王子ノ奉幣ノ儀諸王三公ハ餅ト饋ト米
ハコシヲ畧ストヲ積并ニ酒ト醪ト酥トヲ湛大夫九卿
ハ餅ト饋トヲ積酒ト酥トヲ湛諸年諸造
ハ饋ト酒トナリ庶人ハコシニ代ニ供米
供錢ヲ以テシ饋ト酒トヲ己ガ家ニ爲テ
コシヲ祝ナリ

産儀略禮終

臨産時之方位書之事

吉方

甲子辰歲

亥ノ方

亥卯未歲

寅ノ方

寅午戌歲

巳ノ方

巳酉之歲

甲ノ方

右此方向トキハ則キ事

臨産時之方位書之事

吉方

甲子辰歲

亥ノ方

亥卯未歲

寅ノ方

寅午戌歲

巳ノ方

巳酉丑歲

甲ノ方

右此方向トキハ則チ辛事

吉産ナリ若コレヲ後ニ成ス

凶事葬斃スコレ産時^{トキ}則チ^{トキ}

一也

天保十三寅年十一月吉辰認置

青木政温書置認

15

可辨 辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨

可辨十一 辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨

可辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨

可辨 _墨 辨 _墨

可辨 _墨 辨 _墨

可辨 _墨 辨 _墨

可辨 _墨 辨 _墨

可辨

可辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨 辨 _墨

